



目次

データから見える日本の横顔(24)
慣用句・ことわざ十八番(3)

データから見える日本の横顔(24)

夏休みの過ごし方



立秋も過ぎ、暦の上ではもう「秋」ですが、まだまだ暑い日が続いています。今年の夏、みなさんはどのように過ごしましたか。

子どもたちも、誰もが心待ちにしていた「夏休み」。学校に行かなくてもいい解放感、朝から晩まで友達と外で遊んだ思い出、キャンプや海水浴、家族旅行。みなさんにも忘れられない楽しい思い出がきっとあると思います。しかし、長いと思っていた夏休みも油断しているとあっという間に過ぎてしまい、最後の3日で泣きながら宿題をやる、なんていう経験も多くの人がしているのではないのでしょうか。

では、最近の子どもたちはどんな夏休みを過ごしているのでしょうか。

図 - 1 夏休みの生活時間(5.6 年生)

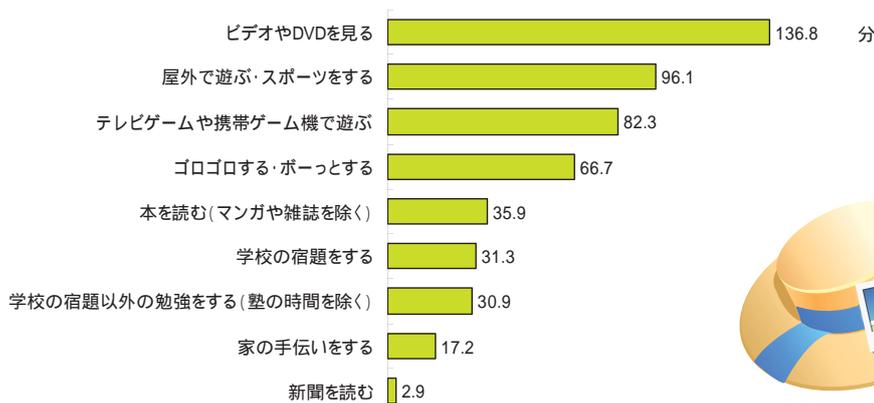
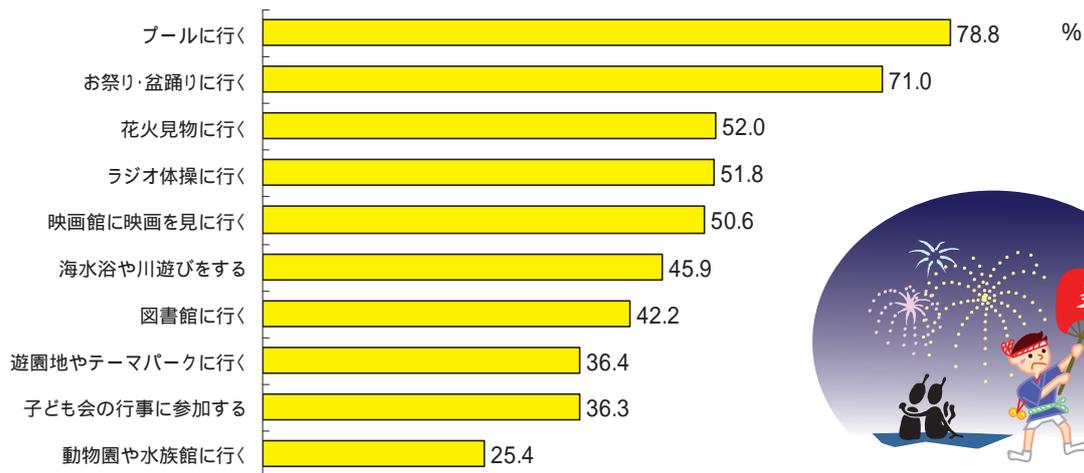


図 - 1の「夏休みの生活」をみると、休みに入り自由時間は増えても、家で勉強する時間は「学校の宿題をする」と「学校の宿題以外の勉強をする」をあわせて平均して1時間程度です。それ以外はテレビやDVDを見たり、外で遊んだり、ゲームをしたりという時間が長いようです。せっかくなので、夏休みには、普段できない経験をたくさんしてほしいですね。

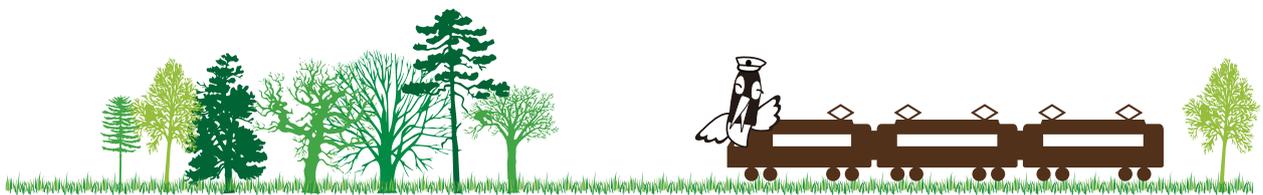
図 - 2 夏休みの体験



複数回答 / 上位10項目

一方、「夏休みの体験（図 - 2）」として一番多かったのは「プールに行く」ですが、2番目の「お祭り、盆踊り」や3番目の「花火見物」などは日本の夏の定番、風物詩ともいえます。こういうところで四季折々の季節感を育むことも大切ですね。

大人になると夏休みは短くなり、夏を感じる暇もなく一年が過ぎてしまいます。子どものころに自分が感じた「夏」の思い出が充実していれば、きっとそれを子どもたちにも感じてほしいと思うのではないのでしょうか。時代が変わっても子どもたちには夏休みの「わくわく感」を体全身で感じてほしいものです。



＜参考サイト＞

Benesse 教育研究開発センター 小学生の夏休み調査 小学生の保護者を対象として 2009年

(調査対象：全国の小学1年生～6年生の子供をもつ母親 4,644名)

<http://www.benesse.jp/berd/center/open/report/natsuyasumi/2009/syo/index.html>



新連載

慣用句・ことわざ十八番~ (3)



* 2ヶ月に一回連載コーナー

食に関する慣用句・ことわざ

9月になりました。NHK放送文化研究所世論調査部「日本人の好きなもの」(2008年)によれば、日本人が一番好きな季節は「秋」だそうです。秋は何をするにもいい季節ですね。スポーツの秋、読書の秋、そして食欲の秋…。今月は「食」に関することわざ・慣用句をみていきましょう。

クイズ1

秋は果物、野菜、魚などおいしいものがたくさんありますが、次のことわざ・慣用句の()に入る言葉は、< >の中のどちらでしょうか?

絵に描いた()

< 餅 / 酒 >

桃()三年、柿八年

< 栗 / 梨 >

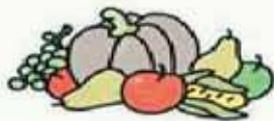
秋()は嫁に食わすな < 米 / ナス >

姉は年齢を、いつも2、3歳若く()を読んで言う。

< サバ(鯖) / マグロ(鮪) >

食べてすぐ寝ると()になる、と祖母によく叱られた。

< 豚 / 牛 >



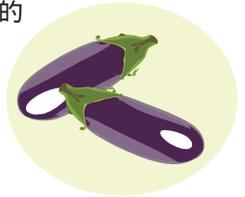
答え

餅「絵に描いた餅」 韓国語も同じく「**화餅**」、役に立たないことの意味。画餅(がべい)とも。韓国には色々な種類の餅がありますが、絵の餅より、やはり食べられる餅の方がいいですね。

栗「桃栗三年柿八年」 実がなるまでの期間を言い、桃と栗は植えてから三年、柿は八年かかるそうです。何事も成果がでるまでには時間がかかるということを言っています。この後に、「ゆずは九年」、「梅は十三年」と続くこともあります。

ナス「秋なすは嫁に食わすな」 この諺には全く逆の2つの解釈があります。秋のナスはおいしいので嫁

には食べさせないという姑の意地悪と、秋のナスは体を冷やしたりして良くないので、嫁に食べさせないという姑のいたわり。ただ一般的には「嫁に食わすな」というくらい、秋ナスはおいしい、ということ**を強調する時に使うことが多いようです。**



サバ「さばを読む」 ここでの「読む」は「数える」の意味。都合のいいように、**数や年齢を**ごまかすこと。あまり「さばを読む」過ぎて、**年齢詐称**などと言われないように…。

牛「食べてすぐ寝ると牛になる」 おいしいものに「舌鼓をうち」、お腹がいっぱいになると眠くなるものですが…。食事をしてすぐ**横**になったり、眠ったりするのは**行儀が悪い**ので、そのことをいませる言葉。

クイズ2

料理に調味料は欠かせませんが、次の()に入るのは?

しお 塩、みそ、さとう 砂糖、あぶら 油



敵に()を送る

【意味 敵でも、**相手**が**苦しい**立場の時は**助ける**こと】
()を売る

【意味 仕事を**サボ**ったり、むだ話などをして**怠**けること】
手前()

【意味 自分で自分をほめること。**自慢**すること】



答え

敵に(塩)を送る 塩は人間の体にとって大切なものですが、戦国時代(15~16世紀)、上杉謙信¹が、敵の武田信玄²が塩不足で困っている事を知り、塩を送ったという逸話から。

(油)を売る 江戸時代、油を売る商人が、商品の油を客の容器にうつす間、客と世間話などをして時間をつぶしたことから³。“ ” “ ”にあたります。おしゃべりは楽しいですが「油を売っていないで、早く仕事に戻りなさい」などと叱られないように…。

手前(みそ) ここでの「手前」は「自分」や「技量・腕前」などの意味。「手前味噌」は自分の家で作ったみそのことで、昔は各家庭でみそを作っており、自分で作ったみその味を自慢したことからも。「自画自賛()」と同じ。スピーチなどで自分や身内の業績などの自慢をする時に「手前味噌で恐縮ですが」などと使ったりします。ただ、 が と言うように、自慢もほどほどに…。

¹ 上杉謙信(1530-1578) 越後 = 現在の新潟県の武将。
² 武田信玄(1521-1573) 甲斐 = 現在の山梨県の武将。
³ 油は、行灯(現在の照明)の燃料などに使われていました。当時の油はねばりがあり、うつし切るまでに時間がかかり、商人は怠けようとおしゃべりをしていた訳ではないようです。

クイズ3 ()の中に入る言葉は、どれでしょうか?

そんなこと簡単だ。()前だ。

< 朝飯 / 昼飯 / 夕飯 >

彼は、演技が下手な()役者だ。

< 大根 / 人参 / 芋 >

妹は、母の若いころと()ふたつだ。

< 豆 / 瓜 / 貝 >

金さんは上司に気に入られようと、

いつも()をすっている。

< ごま / みそ / 豆 >

答え

朝飯前 「朝飯前」はそのまま、朝飯を食べる前のこと。現代では朝食を食べない人もいますが、朝食前の空腹かつわずかな時間でもできるくらい簡単なこと。「お茶の子さいさい」も同じ意味です。韓国語でも食べることに関連して、“ ” “ ” “ ”などの表現がありますね。

大根役者 演技の下手な役者・俳優を「大根役者」または、短く「大根」とも言います。最近の韓国語で“ ”という言葉聞いたことがあります。大根と役者の関係は...? 下手な役者ほど化粧をたくさんして顔が白いことと、大根の白さをかけているなどいろいろな説があります。



瓜ふたつ 縦にふたつに割った瓜のように、親子・兄弟などがよく似ている、そっくりなこと。韓国語では、よく似た親子・兄弟を“ ” “ ” (たい焼き) などと言いますね。

ごまをする 出世や成績などのために、こびたり、お世辞を言ったりして取り入れること。「ごますり」とも言います。日本では、手をこすり合わせるジェスチャーで「ごますり」をあらわすことがありますが、韓国では“ ” “ ” “ ”という時、どんなジェスチャーをしますか。

秋の夜長、下に紹介するサイトなどで、食に関する慣用語・ことわざを楽しんでみてはいかがでしょうか。

参考資料

- ・キッコマン 料理のことわざ <http://www.kikkoman.co.jp/homecook/chie/kotowaza/index.html>
- ・ハミル・アキ、アイリーン・チャング(2004) 『70 Japanese Gestures: にほんのしぐさ70』IBCパブリッシング
- ・NHK放送文化研究所世論調査部編(2008) 『日本人の好きなもの データで読む嗜好と価値観』日本放送出版協会

ご意見・ご感想

『カチの声』をご覧いただき、ありがとうございます。よろしければ『カチの声』に関するご意見、ご感想をお寄せください。皆様からのメールをお待ちしております。

あて先 : webmaster@jpf.or.kr